

みなさんのご意見・ご提案をお寄せください

# 市長への手紙

総務課秘書係

☎1105



## みなさんの声を お寄せください

市では、市民のみなさんとともにまちづくりを進めていくため、市長への手紙を募集します。

みなさんが、日ごろの生活の中で感じる市政への疑問やまちづくりに関するご意見、ご提案などをお寄せください。お寄せいただいた手紙はすべて市長まで目を通して検討し、よりよい市民サービスのために活用させていただきます。

### ●市長への手紙の出し方

住所、氏名、ご意見・ご提案などを記入の上、郵送またはファクスで送付していただくか、総務課秘書係へ直接持参してください（様式は自由です）。

### 送付先 総務課秘書係

〒517-0011 鳥羽市鳥羽三丁目1番1号  
FAX ☎1233

### ホームページ上の入力フォーム

#### 市長への手紙

※必須の項目は必ず記入してください。  
※適当な位置で改行、段落等を行ってください。  
※半角カタカナ、縦横依存文字（丸数字、ローマ数字、単位、特記号等）は使用しないでください。文字化けを起こし、記載内容が読めない場合があります。

メールアドレス(必須)	(入力されたメールアドレスに自動返信メールをお送りします。)
氏名(必須)	
ふりがな(必須)	
性別	<input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
年齢	<input type="radio"/> 10代以下 <input type="radio"/> 20代 <input type="radio"/> 30代 <input type="radio"/> 40代 <input type="radio"/> 50代 <input type="radio"/> 60代 <input type="radio"/> 70代 <input type="radio"/> 80代以上
郵便番号	
住所	
電話番号	
件名(必須)	
内容(必須)	

送信確認 リセット

●市ホームページでも受け付けています

市ホームページでも、市長への手紙を受け付けています。また、各種手続きや申請などに関する担当各課への質問も受け付けていますので、ぜひ活用してください。

●市からの回答について  
<http://www.city.toba.mie.jp/>

お寄せいただいたご意見、ご提案については、担当課を通じてお答えしますが、匿名の場合や返信先などに記入漏れがあるときは回答することができません。

<http://www.city.toba.mie.jp/>

暮らしの情報トップページの画面右側バナー「ご意見・お問い合わせ」をクリックしてください。

ホームページから寄せられた「市長への手紙」の一部を紹介いたします

### 寄せられた声①

三重県も東海、東南海、南海地震3連動による津波が予測されています。わが県も古来より津波被害による死者を多数出してきました。

鳥羽は海に面しており水産業に従事する者、海沿いにごく高台へ逃げ遅れるのも得策ですが、逃げ遅れてしまう場合もあります。

そこで海沿いにいるかたがたは釣り用のライフジャケットを常備すればよいのではないでしょうか。地震が起きたらそれを着て逃げる、万が一津波にのまれても浮くので救助の時、助かりやすいと思います。価格も二千円からあります。「津波対策にはライフジャケットを」これが定着すれば被害者数は減り、震災後の復興も早くなると思います。

### ●総務課を通じてお答えしました

現在、鳥羽市では被害が想定されている地域に津波避難路の整備や避難所の整備などを進めており、津波に対する被害を最小限に抑えるために

最良の手段を検討しています。

今回、ご意見をいただきましたライフジャケットの着用についてですが、着用することによる胸部保護や溺水の回避といった有用性と、着用するために要した時間との関係を検証し、避難所または高台へより迅速に避難することができるよう今後の津波対策の手段として検討させていただきます。

### 寄せられた声②

三島由紀夫『潮騒』の舞台となった鳥羽市神島の旧陸軍施設・監的哨は、1929年竣工、旧陸軍が伊良湖の射撃発射場から発射された砲弾の着弾点を確認するための施設で、かけがえのない戦争遺構です。後世に悔いを残さないよう正しく評価して、文化財にして保全活用されるよう要望します。

### ●観光課を通じてお答えしました

神島の監的哨は築80年以上が経過し、老朽化が著しいため安全面の問題を指摘されています。市でも監的哨の重要性は認識しており、現在景観を保持しながら活用・保存する方法について調査、検討を進めています。